

物理学・医学・社会学・農業の視点から4人が発言します
福島原発事故によって失われたものを我々は取り戻すことができるのか

緊急シンポジウム

世界中を震撼させた福島第一原発爆発事故から2ヶ月が過ぎても、事態は一向に収束の気配をみせません。放射能汚染は広がり続けています。各分野の専門家が福島原発事故を分析・検証、提案を行います。福島原発事故はこれからどうなるのか、核燃・原発関連施設を抱える下北半島は？皆様、どうぞご参加ください。

シンポジリスト

◇物理学的分野担当 **鈴木裕史**(弘前大学理工学研究科准教授)

専門はナノ微粒子物性

◇医学的分野担当 **仁平 将**(医師)

元鱒ヶ沢・五所川原・むつ・八戸保健所長

◇社会学的分野担当 **大坪正一**(弘前大学教育学部教授)

教育社会学・社会教育学専攻 青森県自治体問題研究所会員、弘前市民オンブズパーソン幹事

◇農業的分野担当 **須藤 宏**(津軽農民組合事務局長)

コーディネーター

宮永崇史(弘前大学理工学研究科教授)

専門は放射光を用いた物性物理学

参加費無料

会場カンパがあります

とき 6月2日(木)18:00~20:00
ところ 津軽保健生協本部2階ホール

連絡先:核燃・だまっちゃんおられん津軽の会事務局 竹浪純

takenami@coral.ocn.ne.jp

080-5229-6076